



牛の異常産の発生を予防するワクチンを接種しましょう

牛に異常産を引き起こすアルボウイルスは、蚊やヌカカ等の吸血昆虫が媒介するため、夏期に妊娠牛がウイルスに感染すると、流産や新生児の体型異常などが生じる場合があります。主なアルボウイルス感染症として、アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症などがあります。さらに、昨年は県内でピートンウイルスの関与を疑う異常産が発生しており、今後も注意が必要です。

アルボウイルス感染による異常産を予防するためには、繁殖牛にワクチンを接種することがもっとも有効な手段です。吸血昆虫が活動を始める時期までにワクチン接種を済ませましょう。

家畜保健衛生所では、異常産が発生した際には、ウイルス感染の有無をはじめとした原因を究明するための検査を実施していますので、異常産を確認した場合は御連絡ください。

<主なアルボウイルス感染症>

	アカバネ病	チュウザン病	アイノウイルス感染症
症状	<ul style="list-style-type: none"> ・流産、早産、死産 ・脊柱や四肢の湾曲 ・大脳の欠損 	<ul style="list-style-type: none"> ・虚弱、起立困難 ・大脳の欠損、小脳の形成不全 	<ul style="list-style-type: none"> ・流産、早産、死産 ・四肢や脊柱の湾曲 ・大脳の欠損、小脳の形成不全
写真	 <p>『牛のアルボウイルス性異常産』より</p>	 <p>動衛研HPより</p>	 <p>動衛研HPより</p>

ピートンウイルス感染症

症状	アカバネ病と同様
写真	 <p>沖縄県HPより</p>

<主なワクチンとその対象となる感染症>

- ・牛異常産3種混合不活化ワクチン
 アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症
- ・牛異常産4種混合不活化ワクチン
 3種混合+ピートンウイルス感染症
- ・牛流行熱・イバラキ病混合不活化ワクチン
 牛流行熱、イバラキ病

※初年度は2回接種、次年度以降は1回接種

豚熱（CSF）の発生が継続しています！

令和3年（2021年）3月31日以降、奈良県、群馬県、三重県及び栃木県において、豚熱の発生が相次いで確認されています。いずれも豚熱ワクチンの接種地域での発生となります。

農場にウイルスを持ち込まないためにも、普段から飼養衛生管理を徹底するとともに、豚に異状がみられた際の早期通報をお願いします。

衛生管理を徹底しましょう！



関係者以外の農場への立入を禁止



農場に出入りする際には豚舎専用の長靴の使用、車両消毒を実施



飼料に生肉を含む又は含む可能性がある場合は、十分に加熱処理

農林水産省HPより

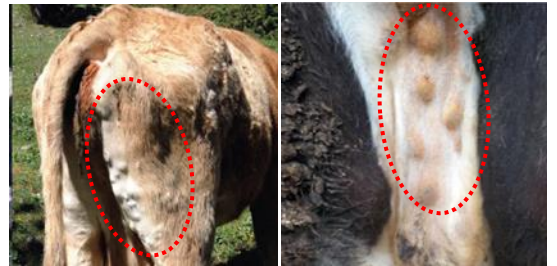
現在、国内で継続発生している豚熱は、明確な症状が現れない場合がありますので、死亡豚の増加をはじめとした異状を発見したら直ちに通報しましょう！

台湾本島でランピースキン病が発生しました！

令和3年（2021年）4月15日、台湾本島北部の新北市においてランピースキン病が発生しました。

ランピースキンとは、発熱・食欲不振のほか、全身、特に頸部、背側、脚部、外陰部などに数個～数百個の結節の形成を主徴とする牛の届出伝染病です。

本病を疑う症状を確認した場合は、速やかにかかりつけの獣医師に連絡をお願いします。



FAO(国連食糧農業機関)HPより

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生日月
高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)	H5N2	台湾(2件)	地鶏・ガチョウ	令和3年3月25日
	H5N5	台湾(7件)	地鶏・ガチョウ	令和3年3月25日～4月20日
		ロシア	家きん	令和3年4月14日
	H5N8	韓国(13件)	地鶏・あひる・採卵鶏・七面鳥・家きん	令和3年4月22日
口蹄疫	O型	中国	豚	令和3年3月16日
アフリカ豚熱(ASF)		中国	豚	令和3年3月23日
		ロシア(265件)	豚・野生イノシシ	令和3年3月12日～4月23日
		韓国(87件)	豚・野生イノシシ	令和3年2月16日～5月5日

令和3年(2021年)5月6日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

